

自治協議会だより

第33号 令和6年9月1日発行

発行: 新潟市中央区 自治協議会だより編集部会 電話: 223-7023 (地域課内)



自治協議会とは?



住民と区役所が協働してまちづくりに取 り組むため、地域などから選出された委員 により、地域課題の解決や情報の共有など に努めています。

今、どんな活動をしているの?

中央区区ビジョン基本方針の「目指す区のすが た」の4つの柱に基づいた分野ごとに、地域課題の 解決に向けて専門部会は活動しています。



「にいがた推しメシプロジェクト in 古町・本町」を 進行中

賑わい創出・交流人口など

古町・本町エリアの交流人口の増加 を図るため、同エリアの飲食店イチ推 しメニューをインスタグラムでPRする プロジェクトを企画。参加

店の情報を、公式インスタ グラム=右の二次元コード =で発信しています。





▲インスタグラム投稿イメージ



鳥屋野潟の活用イメージ図を作成中

分野 水辺・緑化

「鳥屋野潟に市民が憩える水辺 空間の創出」を部会の方針とし、 水際に展望施設やカフェを設置す るなどの、水辺を楽しめる具体策 とその実現方法について検討して います。



▲活用イメージ案(提供 荒井隆二さん)

部会

避難所運営をテーマに講演会・ ワークショップを計画中

福祉・防災など



市の防災マスコットキャラクタ

能登半島地震の経験を教訓とし ていかし、「地震発生初期からの避 難所運営の在り方」についての講 演会と参加者によるワークショッ プを11月に開催します。





若者向けに老舗飲食店紹介リーフレットを作成中

分野 歴史・文化・産業など

食文化や歴史に注目し、区内の 老舗飲食店に長く続けていく秘訣 などについて学生と連携して取材 をしました。取材内容を基に、若 者をターゲットにした老舗紹介 リーフレットを作成しています。



▲取材のようす

身近な地域課題

自治会やボランティア活動を気持ちよく行うには?

自治協議会では委員自ら討議テーマを提案し、意見交換や勉強会を行っています。その様子を一部紹介します。



上之山委員

上之山委員による「スマート自治会」の事例紹介

(令和6年2月22日 自治協議会 全体会議)

女池西自治会と上山コミュニティ協議会の役員の担い手不足を 解消するため、**運営方法を抜本的に見直すことで、地域や時代の** 変化に対応した運営を行う「スマート自治会」に取り組んでいます。

スマート自治会は、「賢い」「スマートフォンなど ITを活用する」という意味を込めて名付けました。



〈スマート自治会の具体例〉

- ・現金の扱いを減らし、銀行振込を利用
- ・LINEアプリでの連絡や二次元コードでの決算書閲覧などITの活用
- ・他の自治会との情報交換、地域の事業所との連携
- ・集合住宅の会費減免
- ・清掃など自治会の活動に対する謝礼の支払い
- ・やりたい人がやりたい活動をサークルとして立ち上げ、自治会がサポート
- ・自治会の法人化と規約の明文化
- ・活動はやれる範囲で無理なく楽しくをモットーに

「共助」としての役割を十分に発揮できる自治会を目 指すことで、地域の問題解決と、災害時に大きな力に なると考えています。



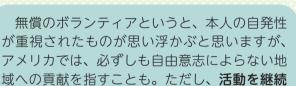
会議資料は

こちら

ボランティア活動のより良い環境づくり

(令和6年6月28日 自治協議会 勉強会)

人手不足の昨今、**ボランティアの依頼が増え、 協力者の負担が大きくなっています。**無償のボ ランティア活動は難しいのでは?



させるためには、経費を保障し ていくことも必要です。

一方で、ボランティアには、

仲間づくりや達成感など、活動 **する楽しさもあります。**ボラン

ナイアのコーディネーターは、気持ちよく活動で きる環境づくりを大切にしてほしいと思います。



福祉協議会 事務局長補佐

山岸委員

研修に参加した委員からは「活動の目的がはっきりしていると参加 しやすい!」「楽しく活動できることが一番!」といった声が寄せら れました。

············· 《広告欄》

